

# 棚卸しパッケージ 説明書 2.0

**RFID EXCEL 入力 MANICA EXCEL TOOL ツールバー**

IC タグの読み込みによるEXCELの操作、入力が実現！



## - Wi-Fi設定編 -

## 目次

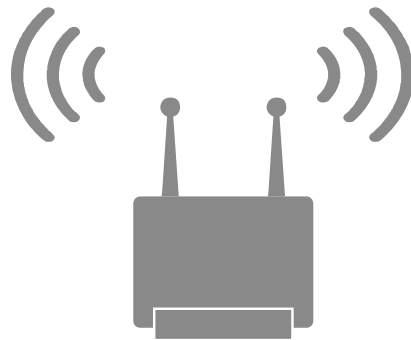
ネットワーク構成	1
起動順序と終了順序	2
運用設定	2
Windows コンピュータの設定	3
ハンディターミナルの設定	4
アクセスポイント定義	4
アクセスポイント側が固定 IP アドレスを設定する場合	8
ハンディターミナル側が固定 IP アドレスを設定する場合	9
通信シーケンス説明	11

## ネットワーク構成

---

マニカエクセルツールは Wi-Fi ネットワーク上で使用可能になりました。Bluetooth 接続の場合は Windows コンピューター側は特定機種の Bluetooth アダプタが必要でしたが、Wi-Fi 接続の場合は Windows コンピューター側の Wi-Fi アダプターは内蔵のデバイスをご使用になれます。(アクセスポイントの機種によっては稀にハンディターミナルとの Wi-Fi 接続が不安定なものがあります。その場合はアクセスポイントの機種変更による対応となります。)

### ハンディターミナル



### アクセスポイント

### Windows コンピューター



Windows コンピューターからの接続をハンディターミナルは TCP ソケットで待ち受けます。また、Windows コンピューターは UDP ブロードキャストでネットワーク上のハンディターミナルを検索する場合があります。(ハンディは IP 指定の UDP で応答します。)

したがって、**ネットワーク側はハンディターミナルと Windows コンピューターの間で、ポート番号 7722 番の TCP パケットとポート番号 7721 番の UDP パケット、ポート番号 7723 番の UDP パケットが送受信可能な設定を行ってください。**

## 起動順序と終了順序

---

使用開始するときの起動順序は、

- (1) ハンディターミナルのマニカエクセルツールを起動する。
- (2) Windows コンピューターのエクセルを起動し、マニカエクセルツールのファイルを開く。

の順序で起動してください。

終了するときは、

- (1) Windows コンピューターのエクセルを終了する。
- (2) ハンディターミナルのマニカエクセルツールを起動する。

の順序で終了してください。

ハンディターミナルや Windows コンピューターがスリープ状態になった場合は、両方のマニカエクセルツールを終了して、再度起動からやり直してください。

## 運用設定

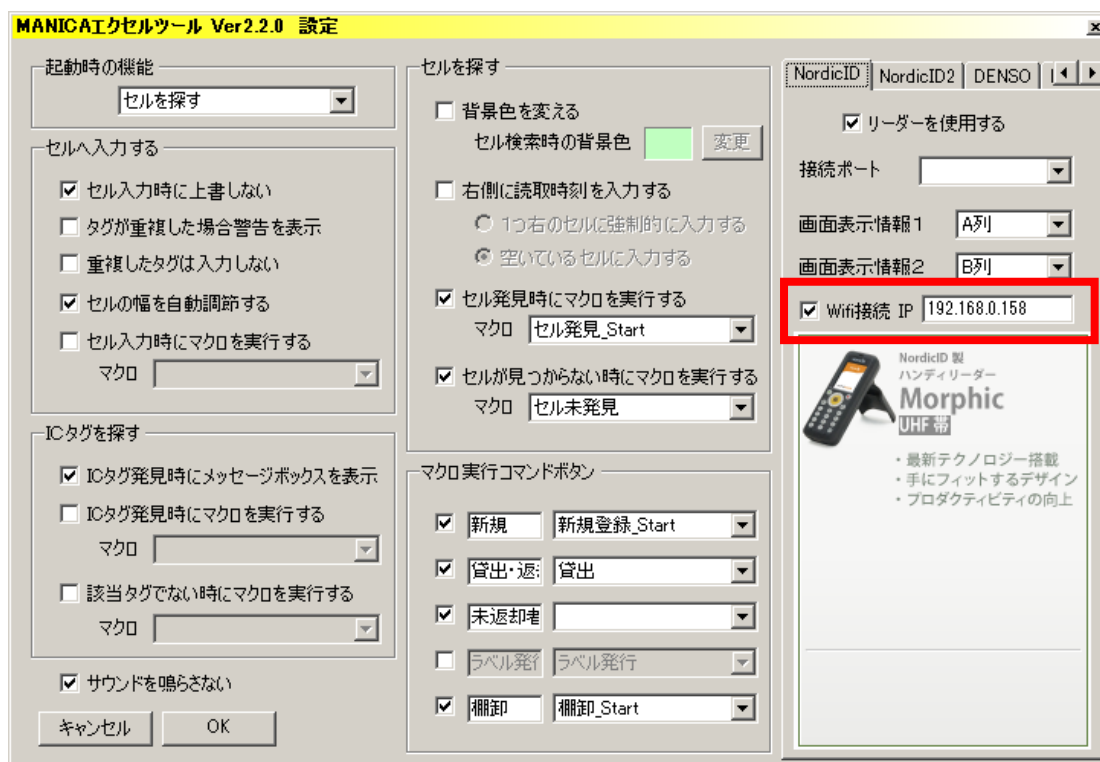
---

マニカエクセルツールを使用する場合は、ハンディターミナルと Windows コンピューターはスリープしないように設定してください。

## Windows コンピューターの設定

Windows コンピューターのマニカエクセルツールにおいて IP アドレスで識別するところの特定のハンディターミナルを Wi-Fi ネットワークで使用する場合は、「Wi-Fi 接続 IP」の欄にハンディターミナルの IP アドレスを入力してください。

(Bluetooth の接続ポートと Wi-Fi 接続の両方が入力された場合は Wi-Fi 接続を指定したことになります。)



Wi-Fi 接続チェックボックスをチェックして IP 欄を空白にした場合は、Windows コンピューターのマニカエクセルツールはポート番号 7723 の UDP パケットをブロードキャストします。(ペイロードは「MANICA」)

ハンディターミナルはポート番号 7721 の UDP パケットで応答します。(ペイロードは機種を示す文字列。例：NordicID MorphicCD の場合は「MORPHIC」。など。)

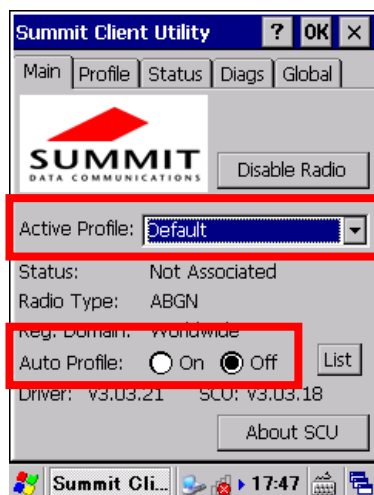
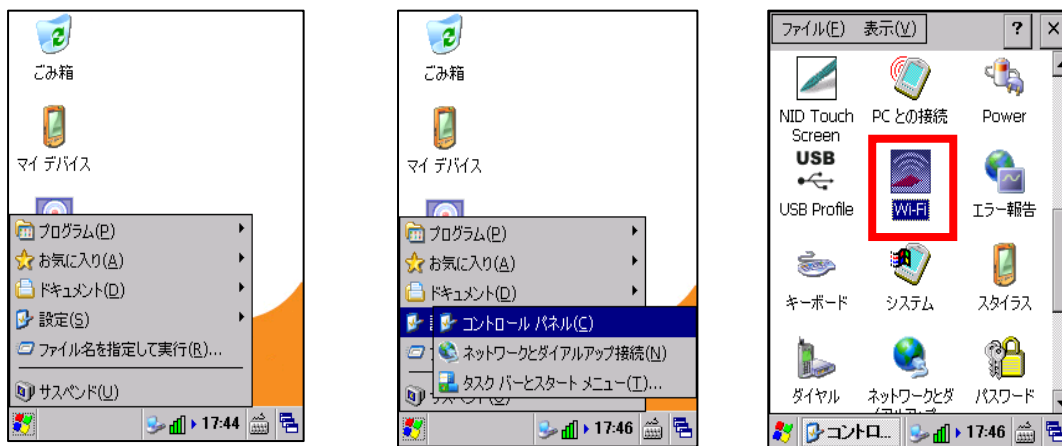
この場合、接続は早いもの勝ちなので、複数のハンディターミナルが存在する場合、どれがつながるか予測することはできません。

## ハンディターミナルの設定

### アクセスポイント定義

Wi-Fi アクセスポイントへの接続は下記の手順で行います。

ハンディターミナルの Windows メニューから、「コントロールパネル」→「Wi-Fi」を開いてください。



「Summit Client Utility」が起動します。

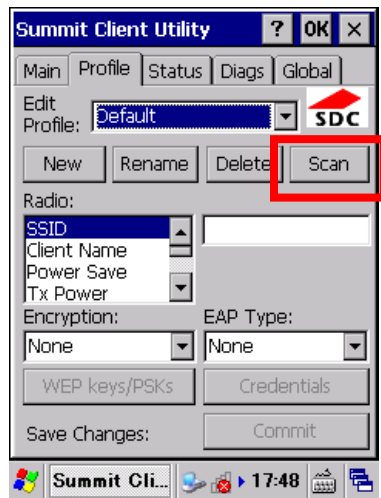
右上のボタンが「Disable Radio」であること確認してください。もし「Enable Radio」の場合は1回ボタンを押してください。「Disable Radio」に変わります。

(既に Wi-Fi が有効な場合は「Disable Radio」と表示されます。)

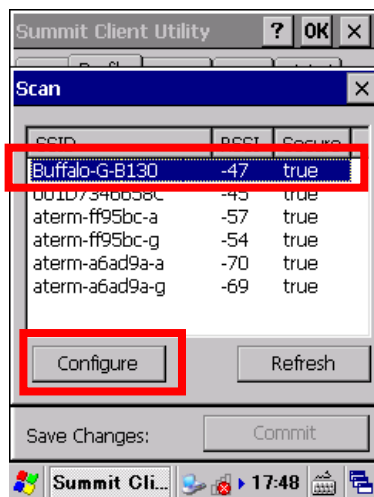
Active Profile: Default

Auto Profile: Off

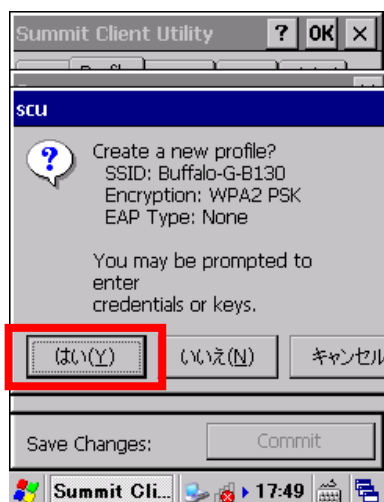
に設定してください。



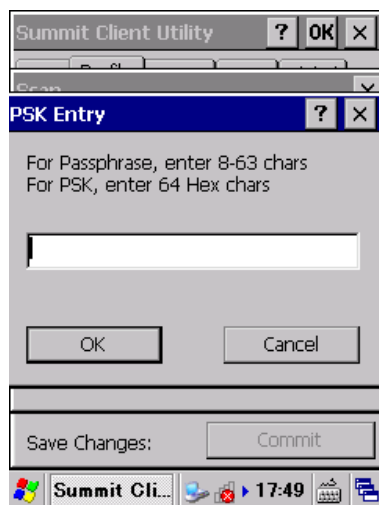
「Profile」タブの「Scan」ボタンを押してください。アクセスポイントの検索が始まります。



アクセスポイントの一覧が表示されますので、対象をダブルクリックまたは、対象を 1 回クリックした後で「Configure」ボタンを押してください。

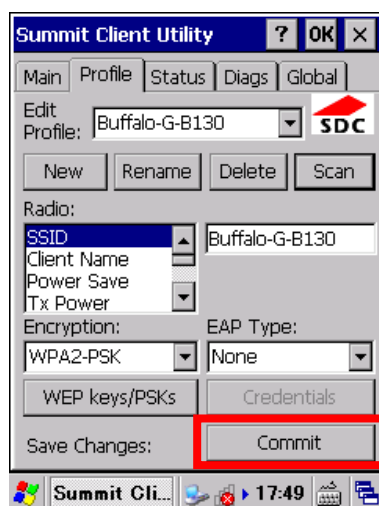


プロファイルを作るか聞かれますので「はい(Y)」を押してください。

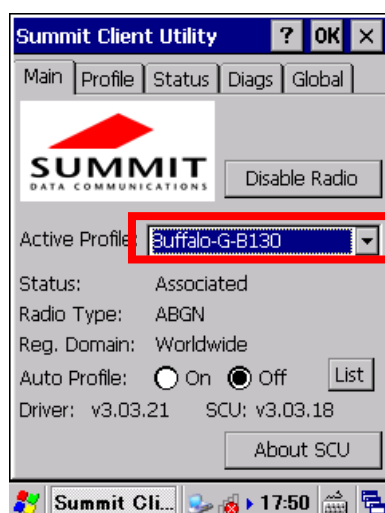


アクセスポイントへのパスフレーズを入力してください。入力には物理キーまたは、ソフトキーが使用できます。ソフトキーを使用する場合はタスクバーのキーボードのアイコンを押してください。

入力したら「OK」ボタンを押してください。

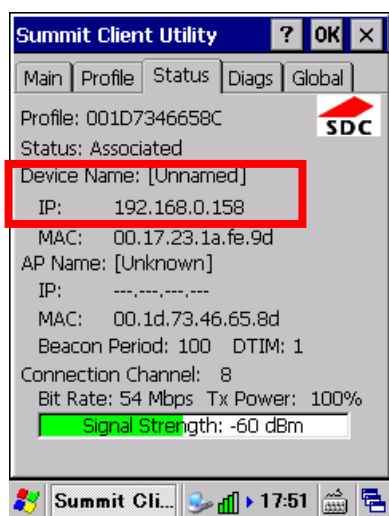


「Profile」画面に戻ったら「Commit」ボタンを押してください。



「Main」プロファイルに戻り、「Active Profile」で作成したプロファイルを選択してください。





「Status」タブを表示して約 20 秒間くらいの間、「Device Name」の下の IP アドレスが表示され続けられることを目視確認してください。

パスワードを間違えていた場合は、IP アドレスが「--.-.-.-」のように表示されることがあります。

その場合は、「Main」タブで「Default」を選択し、プロファイル作成からやり直してください。

## アクセスポイント側が固定 IP アドレスを設定する場合

---

ハンディターミナルの MAC アドレスに対して IP アドレスを割り当ててください。

ハンディターミナルの MAC アドレスは本体のシールに記載されています。(バッテリーを抜くと目視確認できます。)

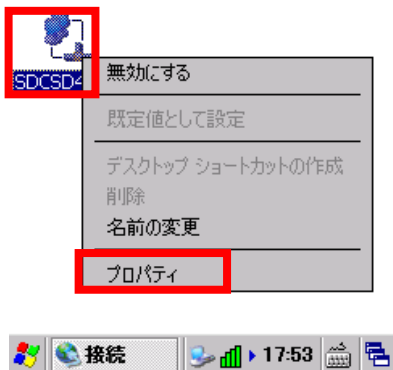


## ハンディターミナル側が固定 IP アドレスを設定する場合

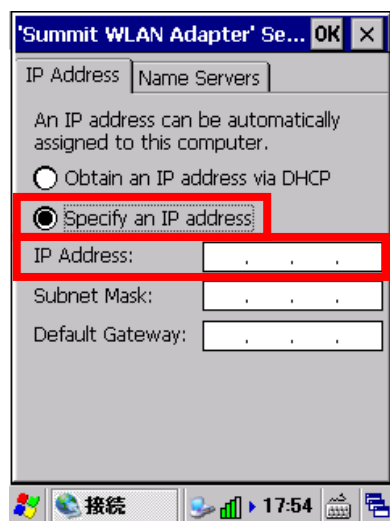
ハンディターミナルの設定を行います。



コントロールパネルの「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開いてください。



「SDCSD40N1」などと書かれたパイプ絵柄のアイコンを長押しするとメニューが表示されるので「プロパティ」を選んでください。



「Specify an IP address」ラジオボタンを押し、「IP Address」を入力してください。

ネットワーク構成で必要な場合は、「Subnet Mask」「Default Gateway」を入力してください。

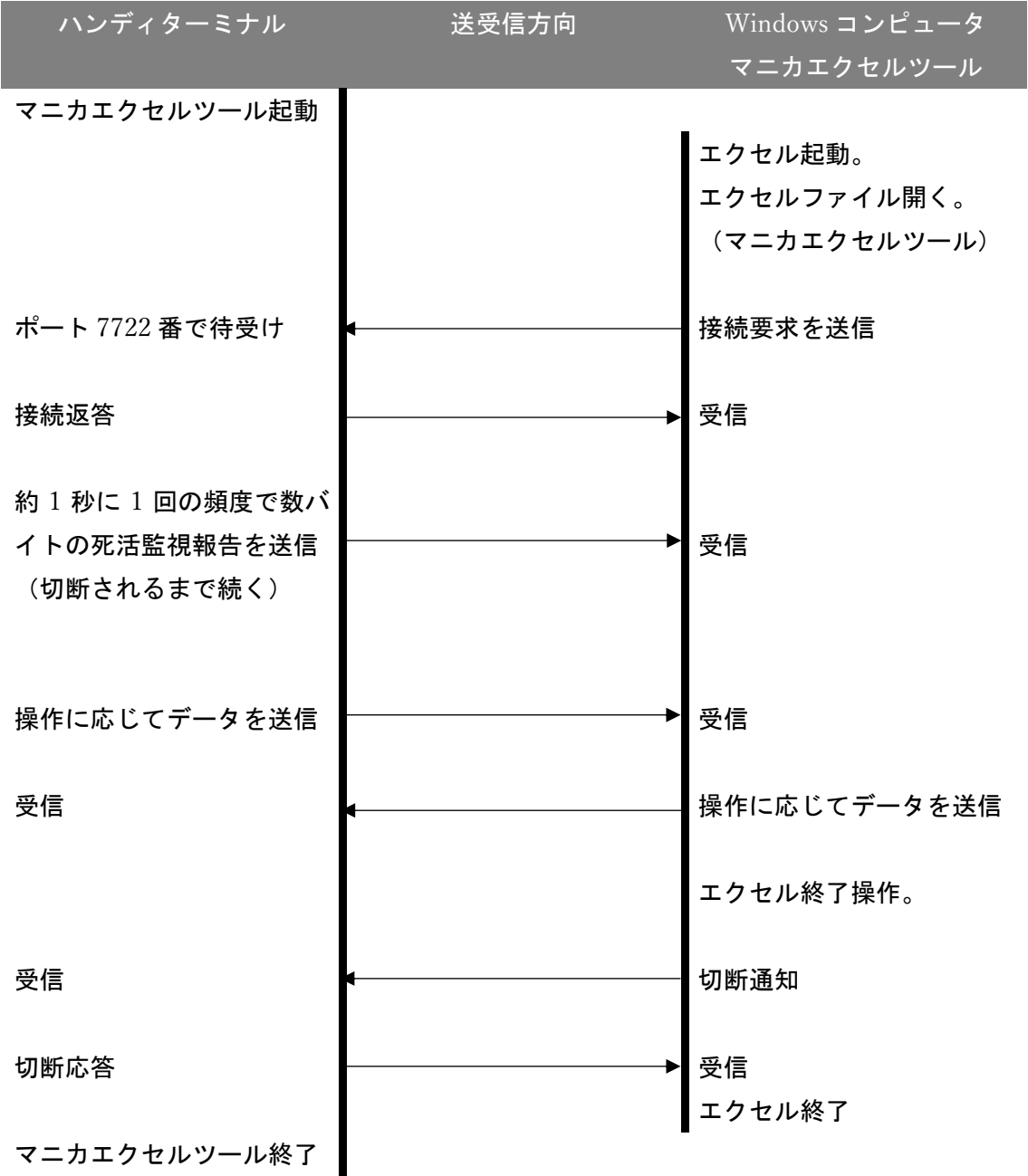
入力したら、右上の「OK」ボタンを押して画面を閉じてください。

接続・切断通信シーケンス説明

マニカエクセルツールの通信シーケンスを下記に示します。

（接続中は約 1 秒間隔で死活監視の数バイトの通信が発生します。）

（ブロードキャストによる PC からのハンディターミナル検索については「Windows コンピュータの設定」をご覧ください。）



最終ページ